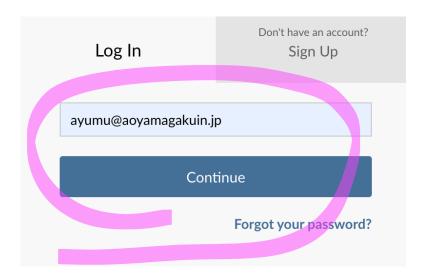
R05: データ読み込み方法

1. Posit Cloud にアクセスする

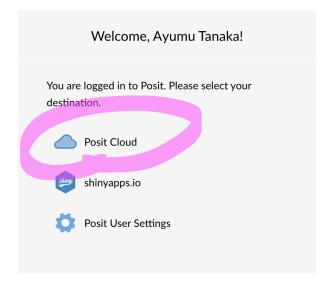


2. Posit Cloud でログインする。

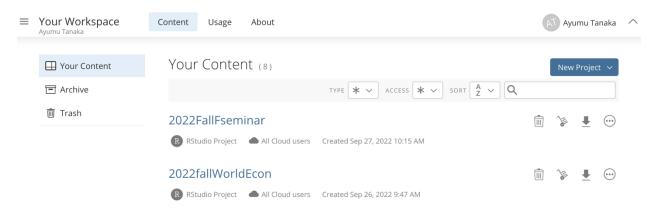
Log in to Posit.



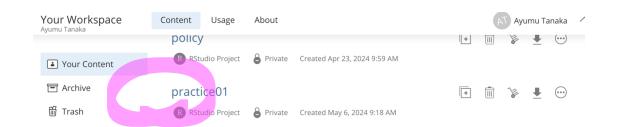
3. 以下のような画面が出たら、Posit Cloudを選択する。



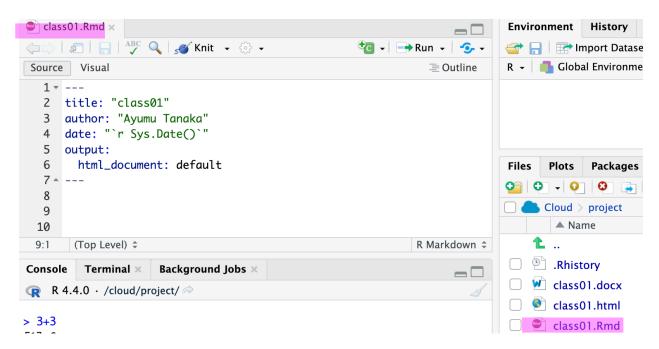
4. 「Your Workspace」にログイン。



5. 授業のページに移動する (この後1分ほどかかる)

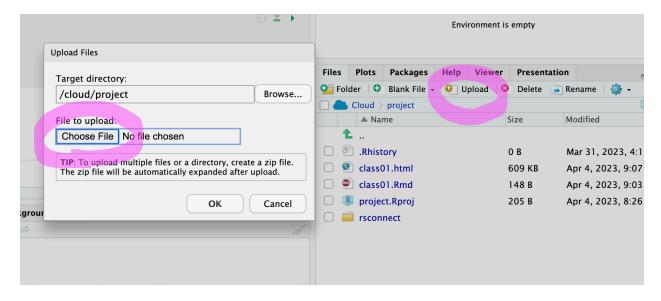


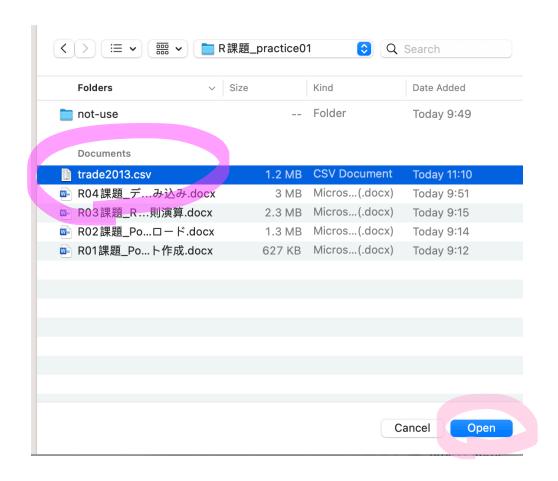
6. R Markdown ファイル「class01」を選択する。

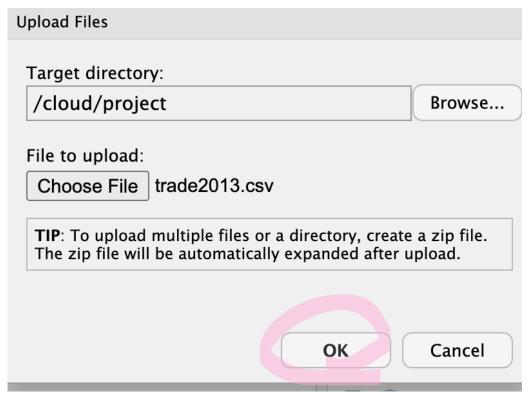


7. csvファイル (trade2013.csv) を upload する。

データ入手先:https://ayumu-tanaka.github.io/teaching/trade2013.csv

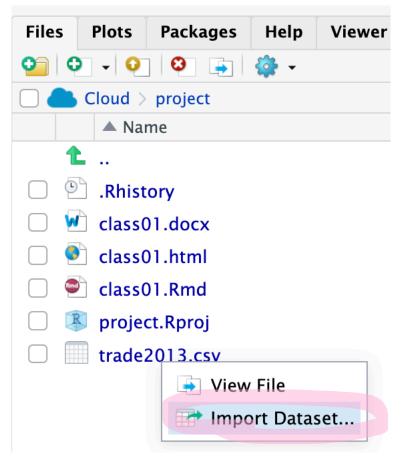




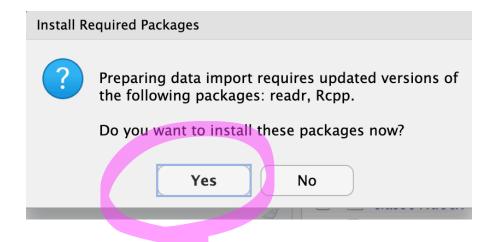


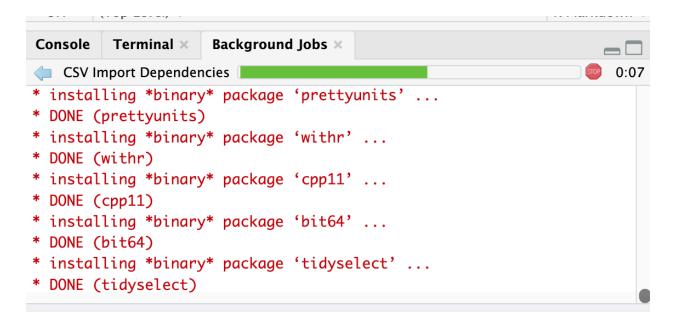
8. アップロードした csv ファイルを読み込む。

csvファイル(trade2013.csv)をクリックすると、「Import Dataset」というメニューが出てくる。

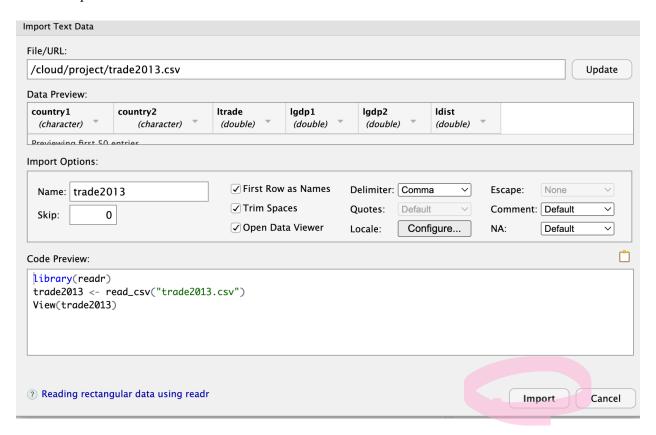


9. パッケージをインストールするか聞かれたら、Yesを押す。

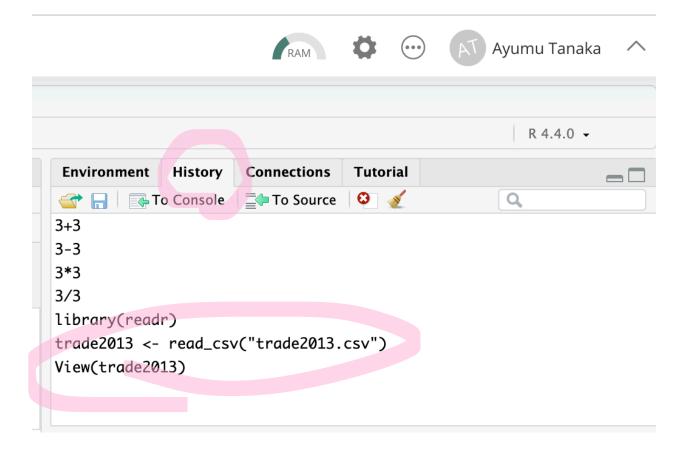




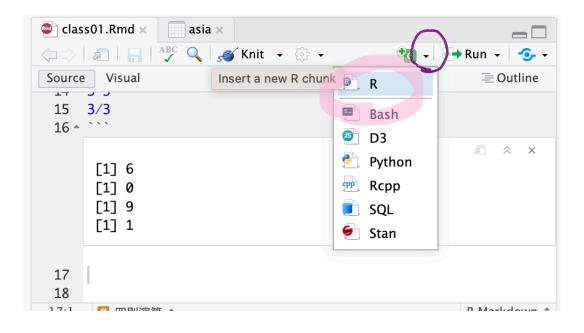
10. Import を押す。



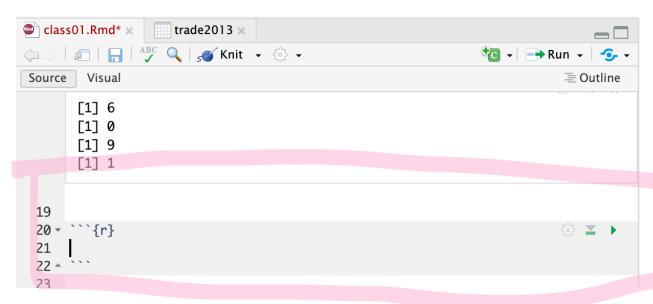
11. History タブに移動 データ読み組んだ際のコードが History に記録されていることを確認。



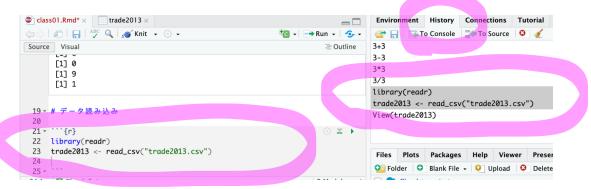
12. Rマークダウンに新しい R チャンクを作成



R チャンクとは、``` $\{r\}$ と```で囲まれた灰色のエリア。ここに R のコードを記載し、Run/Knit を押すと R のコードが実行される。



13. カーソルをRチャンクの内側のグレーの行に置いた状態で、History タブからデータ読み込みのコードを選択し、「To Source」を押してコピーする。



* View(trade2013)の部分はコピーしないよう注意。R マークダウンでエラー原因になる。

14.「#データ読み込み」という見出しを作る。

```
# データ読み込み

* ```{r}
library(readr)
trade2013 <- read_csv("trade2013.csv")
```

15. R チャンクの中に、head(trade2013)というコードを追加し、緑の▷を押して、データの一部を確認する。

```
    # データ読み込み
    * ```{r}
library(readr)
trade2013 <- read_csv("trade2013.csv")
head(trade2013)</li>
```

16. Knit to Word して、R マークダウンをワードに変換。

